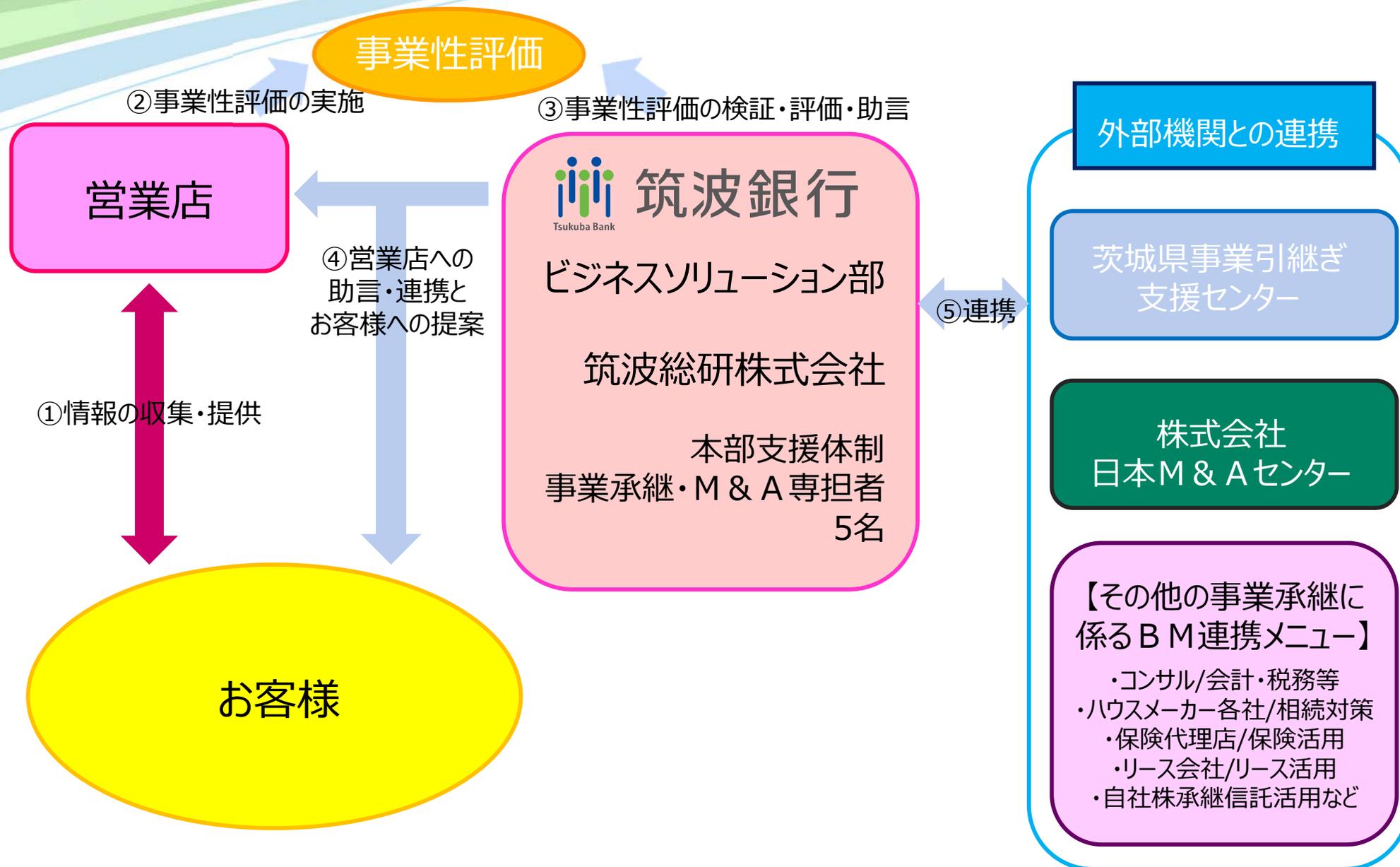


事業承継の取組みについて

～県内における事業引継ぎの課題と弊行の事業承継支援の取組み～

平成30年3月27日

事業承継支援体制について



ライフサイクルに応じた支援の状況

—創業支援先数— (単位:社)		
	29/3期	28/3期
創業計画の策定支援	32	19
創業期の取引先への融資 (信用保証付以外)	226	167
創業期の取引先への融資 (信用保証付)	354	361
政府系金融機関や創業支援機関の紹介	9	2
ベンチャー企業への助成金・融資・投資	3	0
—販路開拓支援を行った先数— (単位:社)		
	29/3期	28/3期
地元	215	286
地元外	168	138
海外	2	1
—M&A支援先数— (単位:社)		
	29/3期	28/3期
支援先数	43	20
—ファンド (創業・事業再生・地域活性化等) の活用件数— (単位:件)		
	29/3期	28/3期
活用件数	1	0
—事業承継支援先数— (単位:社)		
	29/3期	28/3期
支援先数	118	13

—転廃業支援先数— (単位:社)		
	29/3期	28/3期
支援先数	52	203
—事業再生支援先における実抜計画策定先数および同計画策定先のうち未達成先の割合— (単位:社)		
	29/3期	28/3期
実抜計画策定先数 —①	107	72
内、未達成先数 —②	18	12
割合 —②/①	16.82%	16.67%
—事業再生支援先におけるDES・DDS・債権放棄を行った先数および実施金額— (単位:先数:社/金額:億円)		
	29/3期	28/3期
先数	8	5
実施金額	8	8
※) DES (デット・エクイティ・スワップ) とは、借入金の一部を株式に切り換えることにより過剰債務を解消する企業再生の手法 ※) DDS (デット・デット・スワップ) とは、借入金を劣後ローンとして擬似資本とすることにより過剰債務を解消する企業再生の手法		
—事業清算にともなう債権放棄先数および債権放棄額— (単位:先数:社/金額:億円)		
	29/3期	28/3期
先数	42	202
債権放棄額	17	78

※ 弊行金融仲介機能のベンチマーク (2017年3月) より抜粋

事業承継支援における課題

～データで見る県内における事業承継についての課題～

1. 県内中小企業経営者の事業承継に対する意識は楽観的!?

- ①『倒産』件数は減少傾向も、『休廃業・解散』件数は高水準で横ばい…
- ②『休廃業・解散』した企業の約8割は高齢経営者…
- ③事業承継は最優先かつ緊急の経営課題ではない？
- ④事業承継計画を策定・策定しても計画の実行は後回し？

2. 新事業承継税制の情宣が必要！

社会的な問題として地域全体で推進することが重要（関係者の連携強化）。



**後継者候補との意識共有・早期的、計画的な準備が必要であること…など
事業承継の重要性についての“気づき”が必要！**

筑波銀行は…

- ・継続的な事業承継セミナーの開催と個別相談会実施による経営者への啓蒙活動
- ・次世代経営者のためのスクール『次世代経営塾（今年度までで累計5回実施）』の開講による次世代経営者育成支援…などを継続して実施しています！

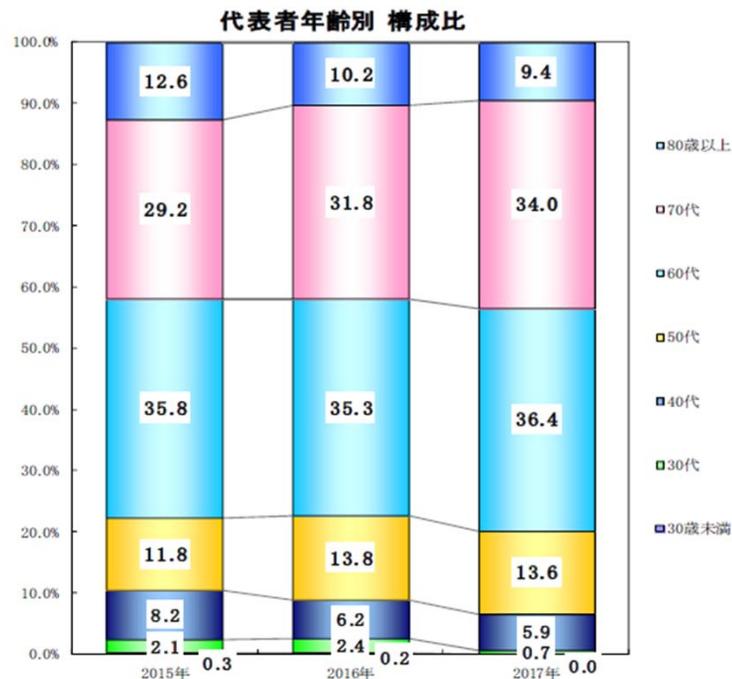
参考資料

①



帝国データバンク 特別企画：茨城県「休廃業・解散」動向調査（2017年）より

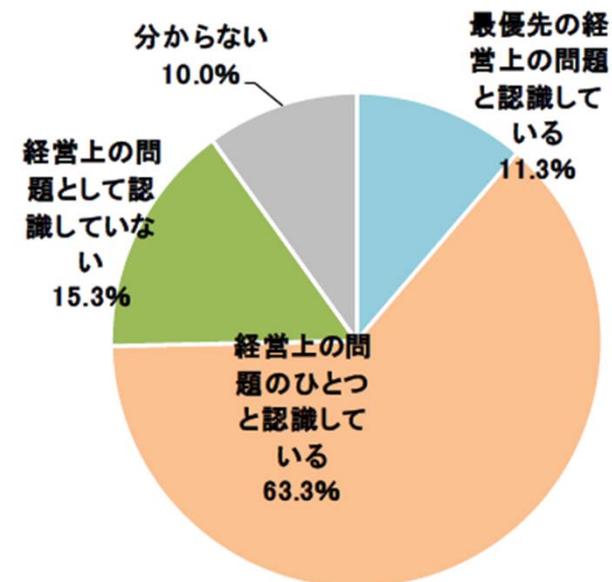
②



帝国データバンク 特別企画：茨城県「休廃業・解散」動向調査（2017年）より

③

■事業承継に対する考え方

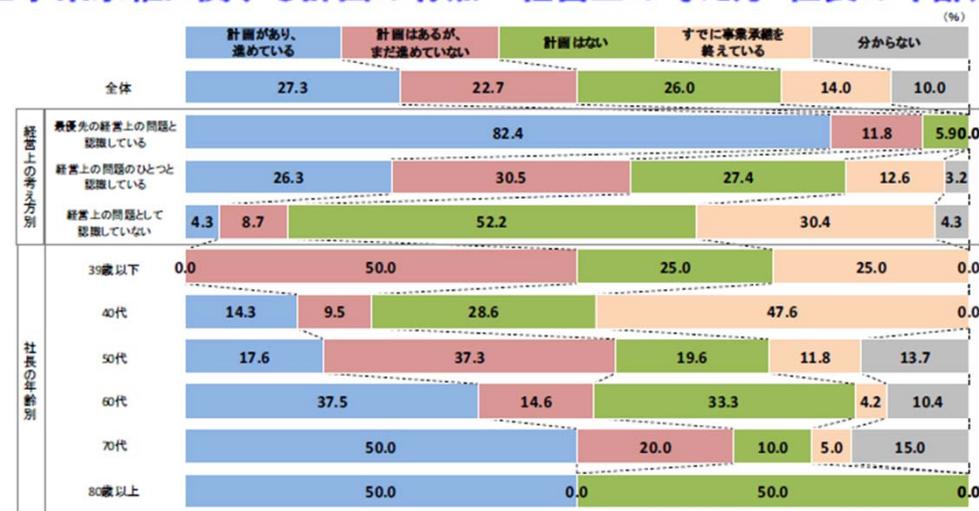


注：母数は有効回答企業150社

帝国データバンク 特別企画：事業承継に関する茨城県内企業の意識調査 より

④

■事業承継に関する計画の有無～経営上の考え方・社長の年齢別～



帝国データバンク 特別企画：事業承継に関する茨城県内企業の意識調査 より
Tsukuba Bank, Ltd.

ご清聴ありがとうございました。



筑波銀行